

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ

職員数:4 回収数:4 割合:100%

	チェック項目	評価			工夫している点 (課題や改善すべき点など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが足りずにサブ無しでのレッスンもたまにあるので適切だとは言えない。</li> <li>・サブスタッフ無しレッスンがある</li> <li>・人が少なく業務がたまっていている</li> <li>・制度上の配置基準を満たしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準を満たした職員数ではありませんが、急遽休みが出た際にサブの配置が難しいことある為、職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう職員の募集も引き続き行っております。</li> </ul>
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場からレッスン室行くまでに必ず階段がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置基準を満たしておりますが、建物の構造上階段や段差が多くあります。車いすで来所するなど階段の上り下りが負担になる利用者さんについては、1Fでのレッスンに固定するなどの対応を行っています。</li> <li>・必要に応じて駐車場からレッスン室までの移動を職員が補助するなど、できるだけ障壁を解消できるよう工夫します。</li> </ul>
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークや情報共有は足りていない。</li> <li>・レッスン終わりの間に時間がないことが多い、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンに関する情報共有や業務改善を図る為、定期的にミーティングやワーク、レッスン後の振り替えりを行ってありますが、状況により実施出来ないことがあります。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。</li> </ul>
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価をやっているか不明。</li> <li>・わからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。</li> </ul>
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会やワークをやっているが、体の構造や使い方への支援が手薄になっているように感じる。目的がばらついている。</li> <li>・もっと外部に行ったり講師を呼び質を向上できるといいなと思います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の所内研修、また不定期のワークを開催しています。今年度は特に外部講師を招き、体の構造や動きに関する内容も研修担当を中心に調整しています。</li> </ul>
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成はしているが遅れがあったりするためその時のニーズに合っていないときがあったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応が追いついていないこともありますが、計画的にアセスメント及び計画を作成できるよう全職員で体制を整えたいと考えています。</li> </ul>	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ

職員数:4 回収数:4 割合:100%

	チェック項目	評価			工夫している点 (課題や改善すべき点など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも えない	いいえ		
適切な 支援の 提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	0	・支援計画をもとにメインに入るスタッフが独自に決めている。 ・小集団やサークルはされていると思う。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	0	・一部の利用者ではレッスンが固定化されているように感じる。それがニーズならいいと思うがもう少し工夫が必要かもしれない。 ・どんどん色々な種目を増やしたりしてと思う	・個別レッスンの内容は本人の主体性を尊重していますが、本人のニーズに加え、コーチ側から提案する工夫ができるよう研修の内容へ反映します。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1	1	・運動会などのシーズンでは設定を変えているが基本的に平日、休日の休暇で変動することはない。	・個別レッスンの選択できる種目は、平日休日問わず固定しています。課題の内容については、放課後の利用や休日の状況などに影響される本人のコンディションと照らし合わせて課題設定しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0	・個別、集団で支援計画は分けていないのでどちらともいえない。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	1	1	・支援会議を開催する時間的余裕がなかなか取れないように感じる。 ・出来たりできなかったり	特に小集団レッスンを行う際には担当職員を中心に事前の打ち合わせを行っていますが、今後も職員間で声かけし、事前の打ち合わせを行います。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	0	・メイン、サブと移動しながら会話をしているが全体での周知は上手くいっていないように感じる。記録に入力されているときはわかりやすい。 ・時間がなくあまりできていないときもある	個別レッスン終了後にはメイン・サブコーチで内容について振り返りを行っています。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	0	・人数不足でしっかり書けないときもある	レッスン時はもちろん、レッスン終了後にも支援内容の記録を記入し、検証・改善につながる話し合いができるよう、再度業務内容を見直していきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1	0	遅れたりすることがある	対応が追いついていないこともありますが、計画的にアセスメント及び計画を作成できるよう全職員で体制を整えたいと考えています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	1	0	今後、5領域になるとさらに難しさが出てくるのかもしれない。	ガイドラインの基本活動や支援の5領域の項目について、レジスポのレッスンスタイルに合った支援方法を全職員で検討しています。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0			
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	0	分からない	送迎を行っていないため、送迎に関する学校との情報共有は行っていません。担当者会議等を通して学校との連携を積極的に行っています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ

職員数:4 回収数:4 割合:100%

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点 (課題や改善すべき点など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	1	現在、医療的ケアの必要な利用者がいない。	レジスポ利用中に医療ケアが必要なお子さんがいた場合、必要に応じて保護者さんを通じて連携を図ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	0	できている利用者、できていない利用者があると思います。	管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	0	分からない	管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加もしくは文書などで情報共有を実施しました。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	0	会議録などで情報を貰える利用者はいるが助言や研修は受けていない。	・過去、沖縄県発達障害者支援センターの研修を受けていましたが、今年度の参加がないため、今後は積極的に助言や研修の機会を設けていきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	1	・スクール内ではあるがデイとしての交流はまだ機会がないように思う。 ・ほほない、取り入れていけると	サークルやスクール活動で障害のない子(兄弟、いとこ)を受け入れております。また、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思います。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	0	わからない。	児童発達支援管理責任者が定期的に行われる西原町の連絡会(自立支援協議会こども部会の準備中)へ積極的に参加しています。内容について事業所内で共有したいと思います。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0		
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	0		・過去にペアレント・プログラムを開催していた経験のある職員を中心に、今後企画していく予定です。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	0		保護者懇談会を毎月テーマを変えて開催しています。今後は多くの職員にも参加いただきながら共有したいと思います。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	0		毎月月刊レジスポを配布し、ホームページやInstagramでも広報しております。ぜひご確認ください。
	35 個人情報に十分注意している	4	0	0		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月30日

事業所名 レジリエンス・スポーツクラブ

職員数:4 回収数:4 割合:100%

チェック項目		はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点 (課題や改善すべき点など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	2		現在地域住民と交流する機会はありませんが、今後地域のイベントや交流する機会等があれば地域連携を検討していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	0	マニュアルを作成しレッスン室に配置しているが保護者が目を通しては不明。また、マニュアルが古いままになっている。	各種マニュアルが利用者さんへ周知できるよう、更新を重ね、利用の際に案内を行います。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	0	契約時に了解を得ているが計画書などには記載していない。	身体拘束については緊急やむを得ない場合を除いて行っておりません。契約時に同意書をいただき、今後必要な利用者さんがいた場合は個別支援計画にも記載することがあります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0		